

Accuphase

CLASS-A STEREO POWER AMPLIFIER

A-75

●優れたSN比とダンピング・ファクターを誇る純A級ステレオ・パワーアンプ●定格出力60W/8Ω、480W/1Ω●「パワーMOSFET」10パラレル・プッシュプル構成●インスツルメンテーション・アンプ採用●全信号経路をディスクリート半導体で実現●バランスド・リモート・センシング方式採用●MCS+回路採用●カレント・フィードバック増幅回路採用●デジタル方式の電力値とバーグラフの電圧値を表示●バイアンプ接続やブリッジ接続が可能





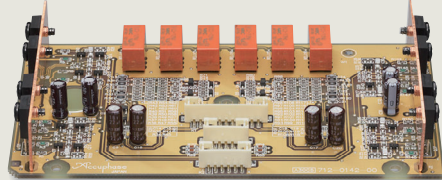
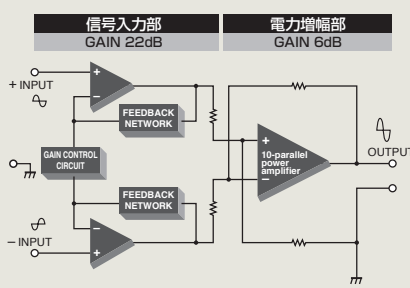
新たな時代の幕開け…純A級ステレオ・パワーアンプの頂点

ディスクリート半導体で構成したインストゥルメンテーション・アンプの理想的なゲイン配分、バランスド・リモート・センシングによる負帰還、10パラレル・プッシュプル構成による電力増幅部が、優れたSN比とダンピング・ファクターを達成。スピーカーのインピーダンスが大きく変動しても、安定したパワーを供給する定電圧駆動を実現します。パワーMOSFETなど素材を厳選し進化を果たした、純A級ステレオ・パワーアンプです。

Technology : 先進の技術

透明感あふれるサウンドを実現する高SN比

A-75では増幅回路全体に、ノイズの影響が少ないバランス回路を構成する、優れた特性のインストゥルメンテーション・アンプを採用しました。また信号入力部にディスクリート半導体によるプッシュプル回路を採用することで、22dB (約12.6倍) という大きな増幅度を割り当て、反対に電力増幅部の増幅度を6dB (約2.0倍) に下げるゲイン配分を実施しました。その結果、信号入力部から電力増幅部に至る大振幅信号伝送が可能となり、外来ノイズの影響が低下、さらに電力増幅部で増幅されるノイズが減少することで、従来モデルと比較し11%のノイズ削減に成功。122dB(ゲインMAX時)のSN比を達成し、透明感あふれるサウンドを実現しています。



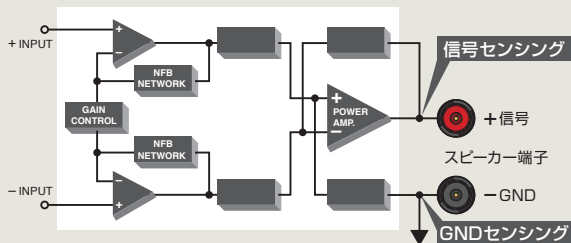
項目	従来モデル	A-75
信号入力部	19.5μV (SN比: 121dB)	17.4μV (SN比: 122dB)
出力ノイズ		11%ダウン

■インストゥルメンテーション・アンプ方式

■出力ノイズ

理想的なスピーカー・ドライブを実現する高ダンピング・ファクター

ダイナミックに変動するスピーカーのインピーダンスに追従して、スピーカーを理想的にドライブするためには、パワーアンプの出力インピーダンスを可能な限り低減させ、ダンピング・ファクターを向上させる必要があります。A-75では、負帰還のセンシング・ポイントをスピーカー端子の近くに配置するだけでなく、GNDからも同時にセンシングを行う『バランスド・リモート・センシング』を採用。出力インピーダンスの低減、すなわちダンピング・ファクターの向上を極限まで図っています。また、電流供給能力に優れた『パワーMOSFET』の10パラレル接続、従来の機械式接点を持たず長期信頼性に優れた『MOSFETスイッチ』、大きな断面積を持つ『エッジワイズ・コイル』、『ホール素子』を使った電流検出など、数々の出力インピーダンス低減手法により、ダンピング・ファクター: 1000を達成し (従来モデル比25%アップ)、スピーカーが秘めた能力を引き出す理想的なドライブを実現しました。



■バランスド・リモート・センシング

項目	従来モデル	A-75
ダンピング・ファクター	800	1000 (25%アップ)

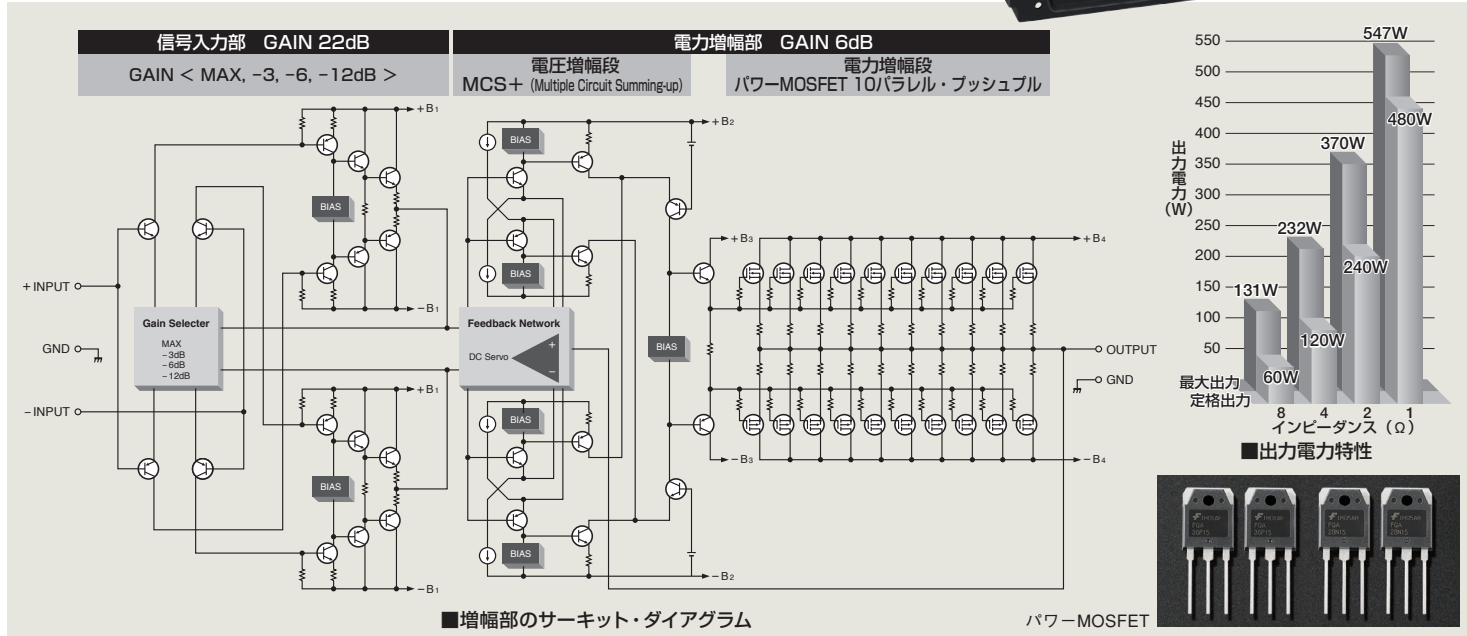
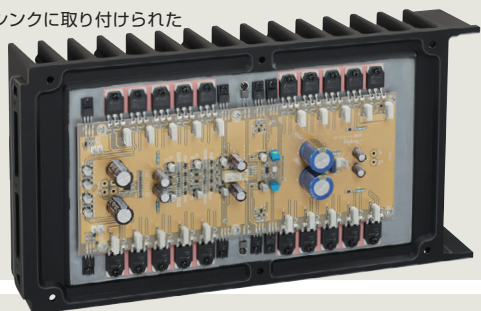
■ダンピング・ファクター

定電圧駆動を可能にする出力電力特性

大型のトロイダル・トランスや大容量のフィルター・コンデンサー(100,000μF×2個)を搭載し、大振幅の信号入力時にも安定した電力を供給する強力な電源部と、大型ヒートシンクによる優れた放熱効果を備えた強力な電力増幅部は、定格出力、60W/8Ω、120W/4Ω、240W/2Ω、480W/1Ω (音楽信号) を達成、スピーカーのインピーダンスが半減するにつれて、出力が2倍となる理想的な定電圧駆動を実現しました。さらに最大出力は、131W/8Ω、232W/4Ω、370W/2Ω、547W/1Ω (音楽信号) に達し、純A級ステレオ・パワーアンプでありながら大型スピーカーも悠々とドライブ可能です。



大型ヒートシンクに取り付けられた電力増幅部



Function : 機能



- ① メーターの表示を切り替える「メータースイッチ」
- ② 表示可能な電力範囲を切り替える「デジタル・パワーメーター・レンジスイッチ」
- ③ 表示の保持時間を切り替える「ホールドタイム切替ボタン」
- ④ 入力端子を切り替える「入力切替ボタン」
- ⑤ 増幅度を切り替える「ゲイン切替スイッチ」

Feature : 特長

- 信号入力部と電力増幅部に、高域位相特性の優れた「カレント・フィードバック増幅回路」を採用
- 電圧増幅段にSN比やひずみ率の改善効果の高い「MCS+」回路を搭載
- 電力増幅部に「ガラス布フッ素樹脂基材」を採用
- ON/OFFの切り替えが可能な、出力電力を表示する「デジタル・パワーメーター」と-50dBまで出力電圧を表示する「バーグラフ・メーター」
- 優れた安全性を提供する、「スピーカー出力ショート監視機能」
- Yラグやバナナ・プラグの挿入が可能で、バイワイヤリング接続時に効果を発揮する、2組の「大型スピーカー端子」
- オペレーション・スイッチで切り替え可能な、「バイアンプ接続」と「ブリッジ接続」
- 4段階の「ゲイン切替機能」
- バランス入力の「極性切替スイッチ」
- OFC導体5芯構造の高音質電源コード「APL-1」



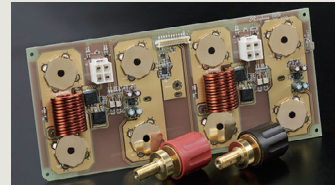
デジタル・パワーメーターとバーグラフ・メーター



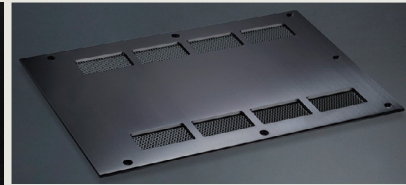
オペレーション・スイッチ



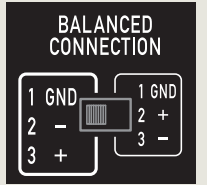
フィルター・コンデンサー



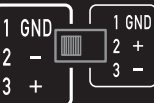
プロテクション・アッセンブリ



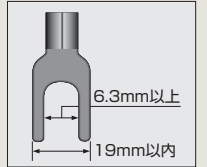
優美なヘアライン仕上げによるトップ・プレート



BALANCED CONNECTION



極性切替スイッチ



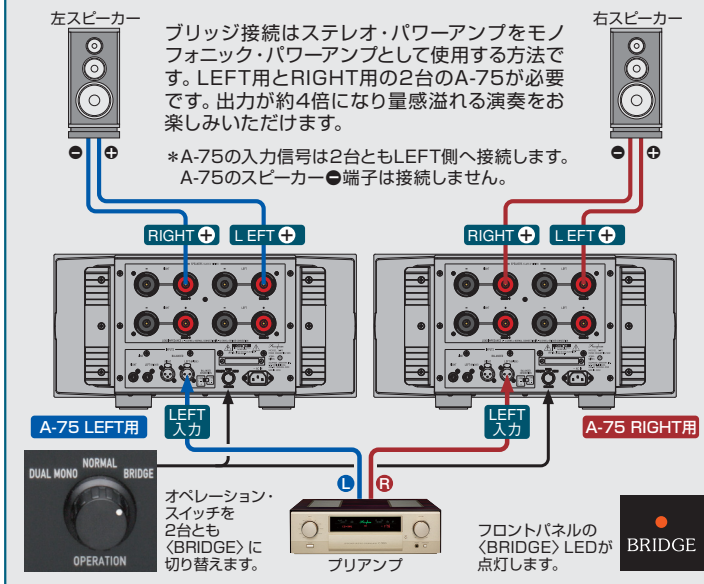
取付可能なYラグの寸法



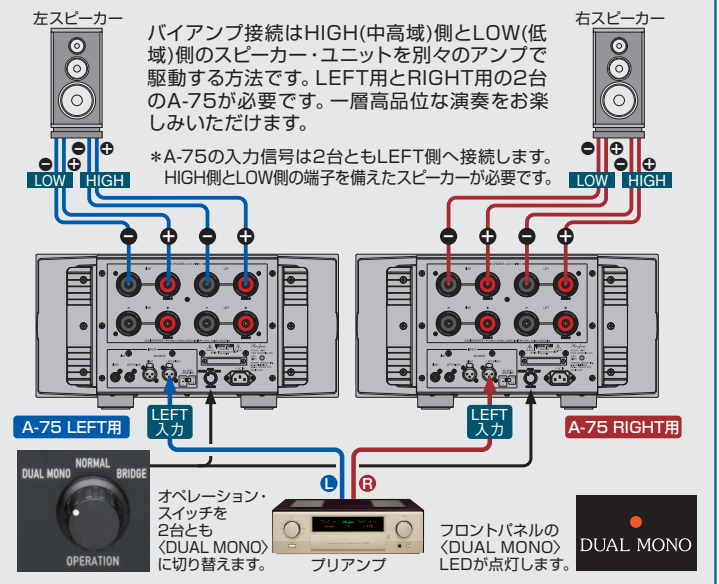
付属の電源コード「APL-1」



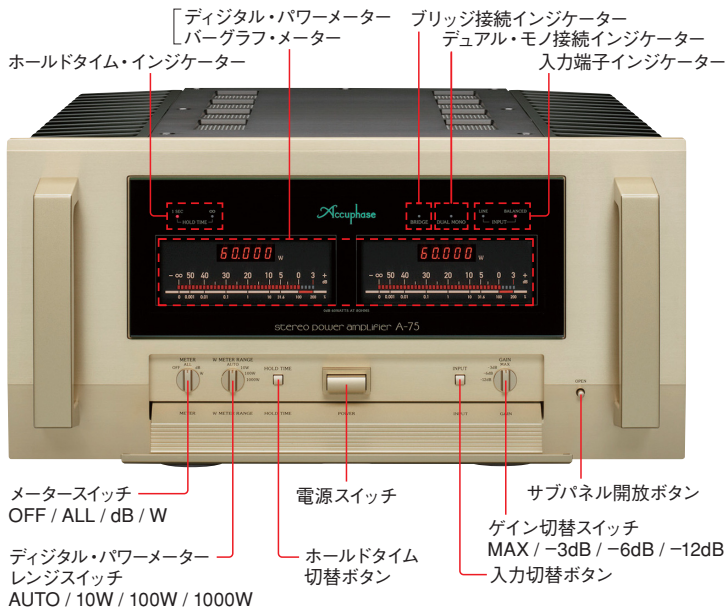
ブリッジ接続例



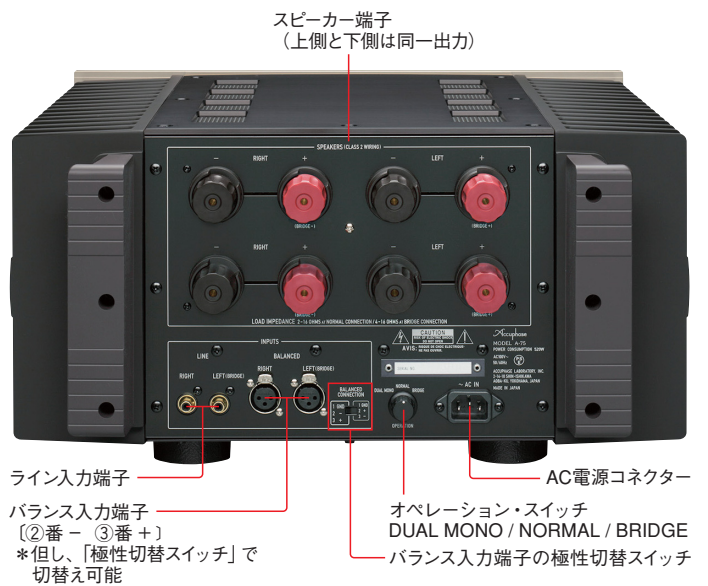
バイアンプ接続例



フロントパネル



リアパネル



A-75 保証特性 [保証特性はEIA測定法RS-490に準ずる]

定格連続平均出力 (20~20,000Hz間)	注意: (※)印の負荷は、音楽信号に限る。
ステレオ仕様時 (両チャンネル同時動作)	480W/ch 1Ω負荷 (※) 240W/ch 2Ω負荷 120W/ch 4Ω負荷 60W/ch 8Ω負荷
モノフォニック仕様時 (ブリッジ接続)	960W 2Ω負荷 (※) 480W 4Ω負荷 240W 8Ω負荷
全高調波ひずみ率	ステレオ仕様時 (両チャンネル同時動作) 0.07% 2Ω負荷 0.03% 4~16Ω負荷 モノフォニック仕様時 (ブリッジ接続) 0.05% 4~16Ω負荷
IMひずみ率	0.01%
周波数特性	定格連続平均出力時: 20~20,000Hz +0 -0.2dB 1W出力時: 0.5~160,000Hz +0 -3.0dB
ゲイン (利得)	28.0dB (GAINスイッチ: MAX時) (ステレオ/モノフォニック仕様時共)
ゲイン切替	ゲイン切替 MAX -3dB -6dB -12dB ゲイン (dB) 28 25 22 16
負荷インピーダンス	ステレオ仕様時 2~16Ω [*音楽信号に限り、ステレオ1Ωとモノフォニック2Ω負荷可能]

ダンピング・ファクター	1000
入力感度 (8Ω負荷)	ステレオ仕様時 0.87V 定格連続平均出力時 0.11V 1W出力時 モノフォニック仕様時 1.74V 定格連続平均出力時 0.11V 1W出力時
入カインピーダンス	バランス 40kΩ、ライン 20kΩ
S/N (A補正、入カショート)	122dB GAINスイッチ MAX 128dB GAINスイッチ -12dB 定格連続平均出力時
出力メーター	デジタル・パワーメーター 出力の電力値 (W) を5桁で表示 表示範囲切替可能 AUTO / 10W / 100W / 1000W 出力の電圧値 (dB) を38ポイントで表示 1秒/∞切替式
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	260W 無入力時 520W 電気用品安全法 370W 8Ω負荷定格出力時
最大外形寸法	幅465mm×高さ238mm×奥行515mm
質量	43.9kg

付属品 ●AC電源コード APL-1



安全に関するご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

●密閉されたラック内や水、湯気、ほこり、油、煙などの多い場所に設置しない。火災、感電、故障などの原因になることがあります。

5年間保証 本機の保証期間はご購入日から5年間です。保証書は本体付属の「お客様カード」をお送り頂き、登録後お届けします。

※本機の仕様・特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。 <http://www.accuphase.co.jp/>
2018年6月作成 F1810Y PRINTED IN JAPAN 850-0211-00 (B1)

Accuphase

ACCUPHASE LABORATORY, INC.
アキュフェーズ株式会社
〒225-8508横浜市青葉区新石川2-14-10
TEL.045-901-2771 (代) FAX.045-902-5052